

科 目 名 建設計画学 Architectural Planning	学年 2	期別・授業形態・単位数 後期・講義・2単位	教員名 今村友里子 研究室 A棟2階(A-218) 内線電話 8982 e-mail: y.imamura@maizuru-ct.ac.jp
授業(30時間) + 自己学習(60時間) = 標準90時間の学習時間			
科目到達レベル: <input type="checkbox"/> 1. 知識・記憶 <input type="checkbox"/> 2. 理解 <input type="checkbox"/> 3. 適用 <input type="checkbox"/> 4. 分析 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 評価 <input type="checkbox"/> 6. 創造			
【授業目的】 建築設計・建築史・都市計画などの観点から総合的に大規模建築物の計画を理解する。知識の応用として、オフィスビルの計画と作図を身につける。 【Course Objectives】 1) To understand the planning of large-scale buildings from a comprehensive perspective : architectural design, architectural history, city planning, etc. 2) To learn planning and drawing of office building.			
【到達目標】 1. オフィスビルの概要を理解する 2. オフィスビルの事例を説明することができる 3. オフィスビルの計画ができる 4. オフィスビルの図面が描ける			
【学習・教育到達目標】 (A) 自然科学と工学の基礎を幅広く習得し、それを応用することができる。			
【キーワード】 建築設計, オフィスビル Architectural Design, Office Building		【授業時間】 2時間(90分) × 15週 = 30時間(22.5時間)	
【授業方法】 授業と演習を組み合わせた授業を実施する。学生の進捗に合わせて、授業計画を変更する場合もある。		【学習方法】 建築雑誌や建築作品集に掲載されている作品を参照し、実作品の設計意図や歴史的背景を理解すること。また、講義内容についての理解を深め、講義内容を応用するために、毎回演習課題を含めて4時間程度の自己学習を義務とする。	
【履修上の注意】 本科目は授業での学習と自己学習で成り立つものである。		【科目の位置付け】 1. 先行して履修すべき科目 建築計画 建築論 建築デザイン 設計演習 2. 後で履修する関連科目	
【定期試験の実施方法】 定期試験を実施する。試験時間は50分とする。		3. 同時に履修する関連科目	
【成績の評価方法・評価基準】 成績の評価方法は定期試験結果(50%)と毎回の授業毎に課す自己学習としての演習課題等の内容の評価(50%)の合計をもって総合成績とする。到達目標に基づき、「オフィスビルの計画」「オフィスビルの図面」などの各項目の理解についての達成度を評価基準とする。			

【教科書・教材等】

配布資料による

【参考書・参照 URL 等】**【授業計画】**

週	内 容	到達目標	教科書参照ページ
第1週	講義：シラバスの説明、オフィスビルの概要		
第2週	講義：オフィスビルの歴史①		
第3週	講義：オフィスビルの歴史②		
第4週	講義：オフィスビルの計画①		
第5週	講義：オフィスビルの計画②		
第6週	講義：オフィスビルの計画③		
第7週	講義：オフィスビルの計画④		
第8週	演習：設計課題出題と解説		
第9週	演習：エスキース		
第10週	演習：エスキース		
第11週	演習：図面作成		
第12週	演習：図面作成		
第13週	演習：プレゼンテーション作成		
第14週	演習：プレゼンテーション作成		
第15週	演習：設計案の発表と講評		
★定期試験			
定期試験返却・到達度確認			

自己学習内容

第1週から第7週までは、毎回の講義内容をレポートとしてまとめること。

第8週から第15週までは、授業で行った演習内容を自己学習課題として提出すること。

【学生へのメッセージ】

オフィスビルの計画は、建物内部のゾーニング計画やレントابل比の設定もさることながら、都市の中の一施設という観点においてランドスケープに関する知識も必要です。オフィスビルの計画を通して大規模建築物の設計プロセスを学びましょう。